



剣心一如!! (双海中学校 剣道部 9月14日)

# いよ

# 令和5年 秋号 議会だより

## 9月定例会

【特集】

2023年9月議会より

タブレット端末導入!!

2

【常任委員会報告】自動運転バス実証実験

将来に向けての展望は？

4

【一般質問】

10人が市政を問う

6

【きらきら・部活い〜よ⑧】

双海中学校 剣道部

18

No.74 2023年11月1日 発行

編集／議会広報調査特別委員会

# 2023年

## 9月議会より タブレット端末導入!!

### 【導入の経緯】

- 2022年 6月 議会改革特別委員会で検討開始
- 7月 先進地である西予市議会へ視察
- 9月 タブレット端末導入決定
- 10月 **ペーパーレス会議システムのデモ研修**
- 2023年 8月 タブレット端末研修会(2回開催)
- 9月 9月議会で運用開始



ペーパーレス会議システムで議案書など、フォルダに収納できます。

### 【経費負担】

1か月1人当たり：5,621円  
(通信料・リース代・補償代等含む)

※議員は約3分の1を負担

県内20市町議会のうち、タブレット端末を導入しているのは16市町議会です。その中で一番早く導入したのは松野町(平成27年度)で、伊予市は15番目の導入となりました。



かわぐち副委員長

## 9月議会の様子

真剣にタブレット端末を見ています!



専用タッチペンで画面に直接記入して保存することもできます!



タブレット端末を見ながら質問しています!



議員とあわせて市職員側も初めてパソコンを持ち込み議会に臨みました!



# 議会改革特別委員会 中間報告

委員長 大野鎮司 / 副委員長 川口和代

6月議会で議会改革特別委員会の中間報告を行いました。



当委員会は、令和3年5月に設置後、各調査項目について、これまで審議、決定してきました。6月議会最終日(7/4)において、これまで審議してきた内容について、川口和代副委員長が中間報告を行いましたので、今回はその中から抜粋して報告します。

※「議員研修会(妹尾克敏教授の講演会)」・「女性議会の開催」・「議会報告会」については、すでに「議会だより第65号・第70号・第72号」において報告していますので、ここでは省略します。

## 【審議・決定した主な事項(一部抜粋)】

### ■タブレット端末の導入について(※2ページに詳細を掲載)

議会ICT化の一環として、主に議会のペーパーレス化を推進するため、タブレット端末を1人1台導入することについて、令和4年6月から協議を開始しました。まず、正副委員長が先進地である西予市議会に視察を行い、ペーパーレス会議システムやグループウェアシステムなど視察しました。その後、報告も兼ねて実際に議員全員でデモ研修を行い、最終的に令和5年度に導入することを決定しました。

### ■伊予市議会災害時における対応指針の策定について

令和3年7月から令和4年6月にかけて協議し、現在、議員6人によるプロジェクトチームを立ち上げ、今期中に策定する準備を進めています。

### ■陳情の取扱いについて

申し合わせ事項により、これまで、市外在住者が陳情を持参した場合、原則、常任委員会に付託していました。今後、郵送で提出された場合と同様に議会運営委員会に諮って、審査除外にすることができる取扱いとすることに決定しました。

## 9月議会を終えて…(タブレット端末を導入しての各議員の感想)

- 指定されたページを開けて、メモを取ることで精一杯の9月議会でした。次回(12月)議会までには、画面を2分割する機能やしおり機能などを使いこなせるようになりたいです。
- 疑問や質疑のキーワードをタブレットにメモする場合の操作に時間がかかっているため、使いこなすには、これから慣れるしかないと思いました。
- 情報をいち早く共有するためには、タブレットの利用は欠かせないものであり、議会運営において非常に有効なので、使いこなせるよう努力していきたいと思います。
- タブレットの導入により、画面共有や過去の会議録をすぐに調べられるようになり、より深い議論ができるようになったと思います。

# 将来に向けての展望は？

## 本格運行に向けて検討する

### 総務委員会

#### 自動運転実証調査業務委託料

**問** 具体的な内容と将来の展望は。

**答** 企画政策課

プロポーザル方式で選定したポードリー株式会社にて運行業務を委託し、オペレーターが自動運転のサポートを行うレベル2での実証運行を行うものである。今回の実証実験の結果をもとに、持続可能な運行体制の確立やランニングコストの確保など様々な課題を整理しながら、次年度以降の本格運行、さらにはレベル4への移行を目指していくが、場合によっては、

規模の縮小や中止の可能性も視野に入れながら慎重に検討を進めたい。

**問** 今回の実証実験の使用車両・運行ルート・運賃等について、令和4年度の実証実験との変更点は。

**答** 企画政策課

運行する路線や無償という形態は変更しない予定であるが、使用車両については、乗車できる人数こそ若干少なくなるものの、安全性・操作性・経済性に優れているうえ、技術的にレベル4への移行が容易である点などを勘案し、フランス製の「アルマ」からエストニア製の「ミカ」という車両に変更

する方向で調整を進めていきたい。

#### 愛媛FCコンテンツコラボレーション事業負担金

**問** どのような効果が期待できるのか。

**答** 地域創生課

事業の効果としては、アオアシ(※)展やスタンプラリー等での観光客数を約3000人と想定しており、各種媒体を通じたイベント告知によるアオアシの聖地巡礼も見込まれることから、伊予市のプロモーションとして大きな効果がある。

(※)アオアシとは、主人公(青井鞆人)が伊予市双海町の中学校を卒業し、日本サッカー界を変える成長の物語を描いた漫画です。



前回の車両「アルマ」



今回使用予定の車両「ミカ」

エストニア製の車両「ミカ」(写真右)は安全性・操作性・経済性に優れており、技術的にレベル4(運転手を必要としない遠隔監視等による自動運転)への移行が容易なこともあり、今回使用する予定としています。

## 民生文教委員会

伊予市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正

問

子ども医療費助成の対象範囲を、現在の15歳から18歳までに拡大することに伴い、条例の一部改正を行うものであるが、改正に至った経緯は。

答 市民課

令和5年6月13日付けで国が定めた「こども未来戦略方針」により、令和6年度中の児童手当の支給期間が高校生世代まで延長されたことよって、子ども医療費においても同様に高校生世代の子育てに係る経済的な負担軽減を図る必要があるため、改正を行うものである。

婚活スキルアップ及び出会い創出業務委託料

問

具体的な内容と委託先の選定方法は。

答

子育て支援課

将来結婚を希望する方が、楽しみながら対異性スキルを向上できるセミナーを開催するとともに、新たな出会いの場を提供することで結婚促進につなげることを目的とする業務であり、プロポーザル方式による選考を行う予定である。

こどもまんなか社会推進業務委託料

問

本市を中心とした県内広域住民に対し、特に父親の子育て参加について意識改革を図る、クロスメディアによる情報発信業務であるが、その情報発信の詳細は。

答 子育て支援課

現在想定しているのは、テレビ、インターネット配信、雑誌及び街頭ビジョンなど、様々な媒体を使うことを条件に受注者の公募を行い、本市の子育てに関する施策や施設を紹介する動画や、イメージを持つためためのショートムービーのようなものを組み合わせて発信したい。



## 産業建設委員会

旧出刈葉たばこ共同利用施設の土地と建物売却

問

旧出刈葉たばこ共同利用施設については、入江工研株

答 農林水産課

式会社に売却する予定としているが、今後の事業展開について、情報など入っているのか。

当初は、建物はそのまま残り、倉庫として利用するとの話もあったが、最終的には、一度、更地に戻して、新しい工場を建設する予定であるとの情報を得ている。事業内容としては、内子工場と中山工場で行っている事業の一部を新しい工場に移すと聞き及んでいる。



旧出刈葉たばこ共同利用施設

中山間地域等直接支払交付金

問

現在、1期5年間の5期目を活動中で、今年度から稲荷集落が新たに取り組むことにより、事業費が増額となった。地域によっては、高齢化が進み人数が減り、今後の活動が難しい集落もあると聞き及んでいるが、次回切り替え時における各集落の申請状況の見直しなど、把握しているのか。

答 農業振興課

令和7年度から第6期の事業が展開される予定だが、通例でいくと、令和7年6月末までに各集落から申請していただくことになっていくため、各集落の今後の意向等については、現時点では把握できていない状況である。

## 金澤 功 議員 (P13)

- 1 児童クラブ(学童保育)について
- 2 移住・定住世帯への支援策について
- 3 マイナンバーカード制度について
- 4 水稻栽培の農薬散布について

## 日野 猛仁 議員 (P14)

- 1 子ども医療費助成事業について
- 2 ふるさと納税制度について
- 3 民間活力の活用について
- 4 集会所の改修について(助成金・分担金)

## 高田 浩司 議員 (P15)

- 1 公立中学校の運動部活動「地域移行」への取組と現状について
- 2 教職員の働き方改革について
- 3 市役所におけるハラスメント防止の取組について
- 4 JR伊予市駅周辺整備事業計画について

## 大野 鎮司 議員 (P16)

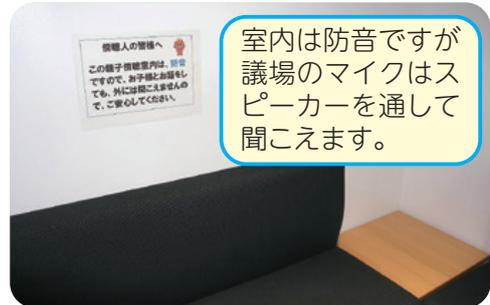
- 1 見守り隊について
- 2 本市のホームページについて
- 3 同窓会補助について
- 4 自主性、主体性を育て世界をかける子どもたちへ

## 正岡 満 議員 (P17)

- 1 下三谷楠木線に設置の監視カメラの利用状況について
- 2 有害鳥獣であるカラス対策について
- 3 伊予地区清掃センターの可燃性粗大ごみ持ち込みについて



親子傍聴席



室内は防音ですが議場のマイクはスピーカーを通して聞こえます。

小さなお子様連れでも議会の傍聴ができる「親子傍聴席」もありますのでお気軽にお越しください。

※通告順(発言順)に掲載しています。

## 一般質問

# 10人が市政を問う

9月議会では、10人の議員が34問の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。全質問項目は下表をご覧ください。8ページから質問した議員ごとに2問の質問を要約してお伝えします。なお、全文記録(議事録)は12月上旬に市ホームページ(<http://www.city.iyo.lg.jp>)の会議録検索システムにて掲載しますのでご覧ください。

伊予市議会

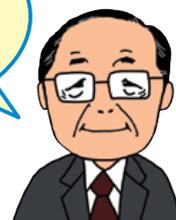


### 門田 裕一 議員 (P 8)

- 1 本市のごみ減量対策、今こそごみ袋無料化を
- 2 本市の学校プール老朽化対策について
- 3 視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進について

#### 『色付きの質問』

は、次ページ以降に掲載しています！



きたはし議長

### 平岡 清樹 議員 (P 9)

- 1 耕作放棄地問題の深刻さについて
- 2 IYO 夢みらい館前「郵便局跡地の利用方法」について

12月議会の日程は11月初旬頃にホームページで掲載予定です。広報いよし12月号でもお知らせします。

### 吉久 俊介 議員 (P 10)

- 1 ふたみの夏祭りについて
- 2 デジタル田園都市構想について
- 3 超高速ブロードバンド網(光ファイバ網)整備について

### 田中 慎之介 議員 (P 11)

- 1 地域活動休暇について
- 2 学校教育におけるタブレット活用について
- 3 コミュニティバスの運行ルートについて

### 森川 建司 議員 (P 12)

- 1 上三谷地区市道拡幅工事等の進捗について
- 2 青少年の健全育成について
- 3 不登校などを少しでも減らそう
- 4 拉致問題を風化させないために

※通告順(発言順)に掲載しています。

# 視覚障がい者や高齢者などのために 音声コードの普及を早急に！

門田 裕一 議員



## (答弁) 関係各課へ依頼したい



**問** 音声コードとは、文字を読むのが困難な人たち、視覚障がい者、高齢者、外国人などに音声で文字情報を伝える二次元コードのことである。紙媒体に掲載された文字情報をデジタル情報に変えるもので、読取り機やスマホアプリを使って聞くことができる。

国や地方自治体などから送られる公的な通知文書や広報紙などの印刷物、また年金や医療、各種保険のお知らせなどには、音声コードの記載が必須である。

本市から市民に送付される公的な通知についても、この音声コードの普及を早急に進めては。

**答** 音声コードの利用は情報のインクルーシブ社会におけるバリアフリー化を一層促進させるための有効な施策と認識しているため、その導入について関係各課

へ依頼したいと考えている。しかしながら、導入に向けた人的負担やシステム改修の是非、財政問題など懸念される事項も多々あるため、音声コード導入の可否や内容、時期などについては、各課の判断に委ねたい。

**問** 新しい技術の普及は、言葉で説明するより、5分でも体験してもらうことが重要である。音声コードの研修会や市民が直接体験できるコーナーを市役所に設置するなどの推進を。

**答** 支援を受けながら手法を調査・研究する。

県障がい者ICTサポートセンターには、相談員が配置され、訪問支援や研修会の補助、最新ICT機器の貸出し・展示・利用体験会なども開催していると伺っている。今後、このような機関の支援も受けながら研

修会や実効性の高い推進活動の手法などについて、調査・研究したい。

### かどた議員の「もう一言！」

視覚障がい者の点字普及率は1割と言われており、例えば点字が読めても、自宅に届く郵便物は墨字と呼ばれる文字が印刷されたものがほとんどです。重要な書類を補助者に読んでもらった時には期限が過ぎていたり、ほかのチラシと一緒に捨ててしまうこともあるため、音声コードの普及は急務です。



### 本市のごみ減量対策

**問** 本市で、ごみ袋が有料化となつてから、最初は個人がごみを出す量が大幅に減つたが、その後は横ばい状態である。本市のごみ減量の取組は。

**答** 市全体のごみ総量が約20%減少となった。

本市のごみ減量化の取組として、焼却処分費用やCO<sub>2</sub>削減を目指し、今年度から一部公共施設や事業者の伐採した樹木や剪定した枝を堆肥製造事業者による処理としたこと、家庭の畳、布団等を粗大ごみの戸別収集に切り替えたこと、プラスチックごみの分別をより進めたことなど、ごみ減量、資源化などの施策を進めてきた。その結果、今年度4月から7月までの公共系、事業系、家庭系可燃ごみの伊予地区清掃センターへの直接持込み実績は、昨年度と比較して約70%減少しており、可燃ごみ収集委託分を含めた市全体の総量も約20%減少となった。

今年度の負担金に換算すると、4か月で約1600万円の節減を実現し、このまま今年度末まで推移した場合、約5000万円の節減が見込まれる。

# IYO 夢みらい館満車時の対応 市役所駐車場などを開放しては？

平岡 清樹 議員



録画映像  
はコチラ



## (答弁) 臨時駐車場として活用を 模索する

問

IYO 夢みらい館にイベント等で参加しようとして何回か車でいったが、一度も駐車場に停められなかったと市民から聞いた。実際に確認してみると、週末は確かに満車状態で施設周辺は車が渋滞して来場者も混乱していた。

駐車場が満車だった場合、ホームページでは国道沿いの広場を臨時駐車場として紹介しているが一般的に遠すぎると感じる。さらに、その臨時駐車場は整地されておらず白線もないため、駐車場としての機能は有していない。利用者のために、臨時駐車場の整地はもちろん、市役所の駐車場を開放するなど、対策を考へては。

答

市役所向かいの立体駐車場は、閉庁時の開放時間内であれば利用できる旨を案内していたが、IYO 夢みらい

館の閉館時間のほうが遅いため、利用者の車が残っているという事態が発生したことから、駐車場完成後は、立体駐車場への案内は行っていないのが実情である。なお、市役所駐車場は、当初から案内は行っていない。

今後は、文化ホールのイベント開催で駐車場が満車となりそうな土曜・日曜・祝日は、市役所駐車場及び立体駐車場を開けて閉鎖時間がイベント終了後になるよう、指定管理者に対して庁舎を管理する財政課へ駐車場の利用申請をするよう提案し、臨時駐車場としての活用を模索したい。

また、国道沿いの臨時駐車場の整地やロープの敷設については、今後、閉庁時の市役所駐車場等が臨時駐車場として利用が開始されても、まだ不足が生じるような状況となれば、整地等から段階的に実施したい。



今後、駐車場が足りない場合、整地等の必要がある臨時駐車場

### 耕作放棄地問題の深刻さ

問

上野団地南側には、県道までの間、きれいに圃場整備された田畑が一面に広がっているが、中央に位置する一部分に耕作放棄地がある。

国では、令和5年4月に農地法と農地中間管理法が改正されたが、この制度を使って耕作放棄地を利活用することは。

答

貸借の設定期間が20年から40年に延長された。

今回の改正により、所有者不明農地の貸借に必要な公示期間が6か月間から2か月間へ短縮され、併せて、貸借の設定期間も最長20年から40年

に延長されるなど、長期の権利設定が可能となっている。また、耕作放棄地対策は農地所有者や相続権者などが担う義務であるが、耕作希望者から申出があった場合に限り、所有者不明農地であっても耕作権利を得ることが可能となる法制度がこのたび整備されたため、今後の耕作放棄地解消の一助となるものと期待するものである。

問

この耕作放棄地を整備するのに、約50万円以上は必要であると聞いたが、この整備に利用できる補助制度は。

答

国の支援金を活用できる場合がある。

既に荒廃化した農地の復旧については、えひめ農林漁業振興機構が実施している事業において10万円当たり4万3000円の支援金を活用できる場合がある。

ふたみの夏祭りとは花火大会

# 来年度以降の開催予定は？

吉久 俊介 議員



**(答弁) 団体等が実行委員会を設立し、主体的に進めればソレイヨが相談に応じる**



**問**

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類に移行され、それまでの日常が徐々に戻ってきた。

そのような中、今年のふたみの夏祭りとは花火大会は開催されなかった。

特に花火大会に関して自身を含め多くの問い合わせが各方面にあったと聞いている。つまり、多くの市民の方は、今年は開催されないことを全く知らなかったということである。

来年度以降の開催はどうなるのか。

**答**

イベントを企画する団体等が実行委員会を設立し、主体的に進めるのであれば、ソレイヨが相談に応じるとの方針は確認している。

市としても、イベントが実施される場合は、地元周知に努めたい。

**問**

ふたみの夏祭りとは花火大会が開催されなかった経緯と開催されないことの告知などは行ったのか。

**答**

告知は、区長会、理事会・総会に留まっている。

双海地区広報区長会にて意見集約し、その後、ふたみの夏祭り運営委員会にて検討する中で、運営委員会のメンバーの高齢化、事務局業務を継続して担うことが困難であるとの意見を受けた。その後、アンケートを実施し、その結果を踏まえ、観光協会双海支部正副支部長会と協議の結果、開催しないという方向性が示されたという方向性が示されたことと聞き及んでいる。これを受け、その後の法人設立準備委員会への報告、双海地区広報区長会での報告・了承を経て、観光協会正副会長会議、観光協会双海支部理事会・総会にて承認された経緯があったことである。

よしひさ議員の「もう一言！」

高齢化が理由で開催が難しいことですが、地元の方々の意見を聞くのと、ぜひやりたいという声が多かったので、来年度に開催できるように地元の意見を慎重に聞きながら前向きに検討してほしいと思います。



## デジタル田園都市構想

**問**

昨秋、双海地域で実施された自動運転バスの実証運行は、持続可能な交通手段の確保や一種の地域の交流ツールとして、デジタル技術の有効性が分かりやすく確認できた非常に有意義な取組であった。国はデジタル田園都市国家構想総合戦略を閣議決定し、

様々なタイプの交付金を活用した地方創生を強力に

なお、告知に関しては、双海地区広報区長会と観光協会双海支部理事会・総会に留まり、市から告知をした経緯はない。

**答**

交付金は自動運転バスの確保策に見込んでいる。

伊予市版「デジタル田園都市構想総合戦略」の改訂による効果・影響及び交付金の活用見込みは、

改訂により、デジタル田園都市国家構想交付金の効果的な活用が可能となるとともに、企業版ふるさと納税の受入れ範囲の拡大に直結することから、計画的な施策推進に向けた財政基盤の確立に大きな効果をもたらすものと大いに期待している。なお、同交付金は、次年度以降の本格運行に向け実証実験の実施準備を進めている「自動運転バス運行事業」の維持・管理費用の確保策の一つとして見込んでいる。また、市民生活の質の向上につながるシステムやアプリケーションの導入に当たっても積極的に活用したいと考えている。

# コミュニティバスの運行ルート 病院の前を通るルートに変更しては？



田中 慎之介議員

(答弁)令和6年度に実施する再編計画策定に向け検討したい



## 問

北山崎・南山崎地区を走るコミュニティバスでは、谷口耳鼻咽喉科や本宮眼科クリニックに行きたい高齢者の最寄り駅は、「じゅらく」になる。「じゅらく」を出たバスは「マルヨシセンター」に向かって走るが、両病院の前を通って国道からマルヨシセンターに向かうようなルートにしたほうが、高齢者の方がより利用しやすいのではないかと。また、現行ルートの通る道を病院前を通るようにしてフリー乗降区間としても、時刻表や乗り換え等にも支障がないのでは。

## 答

高齢者の移動手段として、また利用者の利便性の向上を図るうえで、病院や公共施設等を通するルート選定は必要だと認識している。現時点においても、地域や施設等の関係者から様々な要望も聞いてい

るので、令和6年度に実施する再編計画策定に向け検討したい。

簡易的な路線の変更等において、コミュニティバスの許認可の手続き上、法定協議会による再編計画の承認に数か月の期間を要することや次年度に再編計画を策定することから、現時点でのルート変更は困難である。

## 地域活動休暇の必要性

## 問

自治体が条例で定めれば、職員の特別休暇として「地域活動休暇」を創設できるようにすることが分かった。

兼業などによる職員の活動参加がしやすくなるのではないかと期待もある。本市でも、各所から担い手不足の深刻な話を聞いている。コロナによる活動停止が長引いたことが、ひとつのきっかけとなり、さらに問題が顕著になってきた印象が

ある。各地域団体の担い手不足・高齢化が深刻になっているが、これら地域団体の活動を継続していくことの大切さをどのように理解しているのか。また、神戸市などが検討を始めている地域活動休暇について、本市でも検討を進める予定はあるのか。

## 答

具体的な検討はしていない。

高齢化による担い手の減少により、地域コミュニティの一翼を担う地域団体の衰退は、本市が推進する住民自治によるまちづくりの実現にも大きな影響を与えるものである。「市民自らが考え、共に助け合い、行動」してもらうためにも、市各部署が団体それぞれの悩みや課題に対し、相談できる環境を整えていく必要があると考えている。

地方自治体職員は、地域住民や地域活動との関

## たなか議員の「もう一言！」

職員に地域活動休暇を認めることは、職員が地域の声を聞くきっかけや経験を積むきっかけになります。しかし、一番重要なことは、地域の方が今の社会システムに合った、持続可能な地域コミュニティの創設を、自分たちで作り上げていくことだと考えます。

わりが深く、法律や会計の知識がある職員の地域活動ニーズは高いと思っ

ている。また、逆に、職員としても、地域の活動経験は公務に生かせられるものと考えているもの、一方で、地域活動に専念するあまり、本来の公務に影響が及ぶなどの懸念もあることから、取得要件や取得付与日数等の基準は必要と考えている。しかし、現時点においては、国からの地域活動休暇に係る通知が届いていないため、具体的な検討はしていない。



# 不登校などを少しでも減らそう 市の対応は？

森川 建司 議員



**(答弁)各関係機関と連携し、  
対応を行っている**



## 問

少子高齢化の中、児童・生徒数が減っている。加えてコロナ禍の影響などもあり不登校の生徒が増えていると聞いた。不登校以外に、「はばたき」に通う子や保健室

(別室)登校などは、不登校にカウントされないことや「おおぞら」に通う子などを考慮すると、普通に教室で授業を受けている児童・生徒はどれほどいるのかと心配になる。この現状を放置したままでは、若者に伊予市の未来を託すことはできないとの思いから、不登校などの現状や、市の対応を問う。

## 答

通常授業において自教室にいない人数は保健室や別室で授業を受けている児童生徒と教育支援教室「はばたき」へ通っている生徒、市外のフリースクール等へ通っている生徒の人数等の報告となるが、一学期

末現在で小学生が20人、中学生が42人の合計62人である。

不登校の子どもたちのために本市では「はばたき」や子ども居場所事業「おおぞら」を設置している。こうした取組でも重要となる「子どもとの信頼関係の構築」には豊富な経験と専門的な知識を持つ職員が対応し、個々に寄り添った支援の心がけている。学校生活指導においては、授業や行事等の工夫による楽しい学校づくり、より良い友人関係を育む取組、規則正しい生活の呼び掛け等、教員の積極的な取組以外にも、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの人材を活用し、児童相談所や医療機関、教育センター、フリースクールとの連携や子どもや保護者の相談等実情に応じた対応をしている。

## 上三谷地区市道拡幅工事等の進捗

## 問

新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類に移行され、経済が活性化しているのは喜ばしいが、ガソリンや電気代をはじめとする物価高騰が市民生活や公共工事に影を落としていく。そこで、上三谷地区で進められている工事などの進捗状況について次の3点を問う。

- ① 輝市ひかりからの通学路の拡幅工事は。
- ② 仲神建設から仲神商店の拡幅工事は。
- ③ 南伊予駅に隣接する公園の進捗は。

## 答

③ 次年度にかけて整備を行う。

- ① 今年度当初より測量・設計、地元関係者等との協議を終え、現在、埋蔵文化財試掘調査の準備中である。調査結果に支障がなければ工事に着手

し、年度内完了を目指したい。

② 現在、概略設計業務を発注して、作業を進めている。年度内には地元関係者と協議を実施したい。

③ 事業実施場所を特定し、現在、用地取得に向けた諸手続きを行っている。併せて設計業務を進める中で、必要な機能や施設管理について、この秋口を目途に地元の意見を伺うこととしている。今年度は詳細設計や建築確認申請などを順次実施し、次年度にかけて整備を行う予定である。



②の狭あいな歩道(通学路)

の学危  
差低は  
段は危  
あはは  
い歩道  
あるの  
狭あ年  
陰で過  
酷である

マイナンバーカード取得支援

# 高齢者等への取得支援は？



金澤

功議員

**(答弁) 本年11月から申請サポートを計画している**



**問**

マイナンバーカード制度については、当初から、市役所に行くことができない高齢者や障がい者などの取得をどう支援するかが問題となっていた。令和5年8月付けで、国が作成した「福祉施設、支援団体の方向けマイナンバーカード取得・管理マニュアル」では、「市区町村職員による出張申請受付についての手続の流れ」が明記された。市職員の出張申請受付について、実施時期と実施方法等の手続の流れは。

**答**

高齢者施設や障害者施設などを対象に、希望する施設と日程や必要書類などについて調整を図り、本年11月から施設への訪問による申請サポートを計画している。続く12月からは、来庁が困難な在宅高齢者などを対象に、電話による申請予約を受付、戸別訪

**問**

間による申請サポートを予定している。きめ細やかなサポートにより、引き続き高齢者などへのマイナンバーカードの取得機会の充実に努めたい。

## 児童クラブ体制の見直し

**問**

ここ10年で、新川地区と米湊地区の2地区で、郡中小学校の全児童の半分以上を占めるようになった。それに加え、新川地区に大規模な宅地開発が現在も進んでおり、今後20年位は、新築住宅の建設が見込まれ、児童数はさらに増加する可能性が高いため、児童クラブが足りないことが推測される。「第2期伊予市子ども・子育て支援事業計画」を見直し、現状にあった計画を立て、児童クラブ体制の再検討が急を要すると考えるが、市の見解は。

**答**

総合的かつ慎重な検討が必要である。

児童数の推移や支援員の確保など公設児童クラブの課題と、民設児童クラブとの役割分担などを踏まえた児童クラブの中期的な在り方について、より多方面からの総合的かつ慎重な検討が必要であると認識しており、今後は、「第3期伊予市子ども・子育て支援事業計画」を適切に策定したい。

## かなざわ議員の「もう一言！」

ここ10年間で、児童数が倍近く増加している新川地区は、転入されるほとんどの世帯が共働きであることから、手厚い子育て支援の特別施策が緊急的に必要と考えられます。ところが、郡中小学校区内の児童クラブは、米湊地区に集中し、新川地区の急激な児童数の増加に対しての子育て支援策はほとんど聞こえてきません。新築に伴い固定資産税や市民税等の増加した税金にあわせた、公正で公平な市民サービスの還元が、行政の責務と考えます。



**問**

夏休み等の長期休校での児童クラブ利用で、保護者の負担になるのが、昼食用の弁当作りである。他自治体には、学校給食センター等を活用した昼食の提供や弁当業者と提携して昼食を提供するなど、様々な動きが出てきている。市内児童クラブ利用時の食事等の支援についての方針は。

**答**

情報を収集していきたい。

休日における食事の提供は、衛生対策など懸念事項が多くあり、現時点での実施は難しい。しかし、少子化対策や子育て支援の観点から、全国の一部の自治体では、保護者の要望を受け昼食を提供する取組が始まっている。まずは近隣市町の動向や弁当業者の導入可否、国や県からの補助金の有無などについて、情報を収集していきたい。

# 伊予市集会所整備事業分担金徴収条例 集会所改修の実績は？

日野 猛仁 議員



(答弁) 4団体が本条例を活用している



問

大規模災害が発生した場合、市内の公民館や学校など、緊急避難場所や避難所として54か所が指定されている。しかしながら、昨今の異常気象と予報が難しいと言われている線状降水帯が発生すると、すぐに避難できる集会所が身近な避難場所であると考え、市内の集会所は172

か所あるが、老朽化や建築基準法施行前に完成した施設も多くあるため、地域の重要な活動拠点であることから住民が安全に利用できる環境が必要だと考える。

本市は、伊予市集会所整備事業分担金徴収条例を平成18年に制定しているが、この条例を活用しての集会所改修の実績は、また、耐震補強等改修の必要な集会所は、どの程度あるのか。

答

条例の活用実績については、この条例は平成18年4月1日から施行しているが、その後、

ひの議員の「もう一言！」

条例では集会所改修に事業費の4割分の分担金(右表)を必要とされており、地元負担が大きいため改修が進んでいないのが現状です。今後は現状に見合った制度の見直しを要望します。



市内集会所 改修実績

年度	集会所	事業費	分担金
18年度	上三谷客集会所	1,621万9,000円	636万9,000円
22年度	市場集会所	2,888万4,000円	1,157万1,000円
24年度	石ノ久保集会所	828万4,000円	331万3,000円
26・27年度	近江文化センター	1,675万2,800円	671万2,000円

県の補助制度の廃止に伴い、平成21年度に全部改正を行っている。これまで4団体が本条例を活用し、集会所を整備している。(左表参照)  
耐震補強等改修の必要な集会所については、現在利用中の172の集会所のうち、旧耐震基準のものは約6割(103件)となっている。

ふるさと納税制度

問

国が発表した令和4年度のふるさと納税の寄付額は16%増の9654億円と3年連続で過去最高を更新し、件数も17%増の5184万件と最多である。本市のふるさと納税の受入件数と受入額の推移は。

答

令和4年度は対前年比で約2倍になった。

返礼品を伴う受入実績は、令和2年度が2966件で約4830万円、3年度が2699件で約4344万円、4年度が5181件で約8455万円となっている。4年度は、対前年比で受入件数及び受入額が約2倍になった。

問

ふるさと納税制度を利用した人が多い自治体ほど、住民税控除による税収「流出」の痛みを負うことになり、この制度で苦戦している自治体も数多くあるが、本市の現状は。

答

令和5年度は約3875万円で年々増加傾向にある。

翌年度の市民税寄付金控除額は、左表①のとおり、年々増加傾向にある。

①市民税寄付金控除額

年度	控除額
令和3年度	2,353万5,000円
令和4年度	3,034万9,000円
令和5年度	3,875万5,000円

②全ての経費を差し引いた実質収支

年度	実質収支
令和2年度	2,423万4,000円
令和3年度	1,948万1,000円
令和4年度	3,526万1,000円

①の控除額は、国から一定(75%)の補填がある。5年度でいうと3875万5000円の控除額に対し、2906万6000円が国から補填される。参考に、これらの金額と返礼品の調達や送付・広報等に要する経費を差し引いた実質収支は右表②のとおりである。

# 公立中学校の運動部活動「地域移行」 市内中学校の今後の方向性は？

高田 浩司 議員



## (答弁) 複数校での合同練習を 試験的に行う

**問** 運動部活動の「地域移行」の実証実験は国が費用を負担して、地域クラブ活動の運営団体の体制づくりや指導者の確保、学校施設の活用などを後押しする事業である。部活動の地域移行は、少子化対応や教員の負担軽減のために休日の部活動の指導を地域のスポーツクラブに委ねる改革で令和7年度までの3年間を推進期間としている。

本市の4中学校の今後の方向性と具体策は。

**答** 本市では、昨年12月に学校長やPTA並びにスポーツ協会の代表などを委員とした「伊予市部活動の地域移行に関する検討会議」を設置し、これまでに国が示した提言等を踏まえ、部活動改革の課題についての検討と意見交換を3回行った。今年度は、高知県の町と香川県東かがわ市への先進地視察を

実施し、県教育委員会保健体育課の指導を仰ぎながら大学生の外部指導者を取入れ、複数校での合同練習を試験的に行う予定としている。

本市の目指す方向性に関しては、現在、県が9月末を目途に作成中の「部活動改革に係る推進計画」を踏まえ、市の実情に応じた推進計画を策定できるよう、引き続き検討会議において議論を深めたい。

実証事業が終わり  
国の費用負担がなくなつたとき、保護者に金銭的負担が増える場合の対処方法は。

**問** 国や県へのさらなる補助拡充の要望を行う。

国の補助金を活用しながら地域移行を進めていくが、今後、保護者への経済的負担が生じる可能性はある。そこで、国や県へのさらなる補助拡充の要望を行いながら、市

としてどのような支援が適切か検討を重ねつつ、生徒や保護者に対して丁寧な説明を行うことで、理解を図りたい。

### たかた議員の「もう一言！」

2023年度の実証事業として県内では新居浜市、松山市、大洲市、松前町の4市町で行われています。2026年度までに県内20市町で実施割合100%を目指しているようで、7月の県総体でも地域クラブとして参加した団体があったようです。



### JR伊予市駅周辺整備事業計画

**問** この整備は、市民の声を反映させる事業で、2030年の整備完了を目指している。

鉄道駅が隣接するすばらしい立地条件を活かすための重要な事業である。今後、事業を進める中の課題と今後のスケジュールは。

**答** 令和8年度からの5年間で進捗を図る。

本事業は、伊予鉄道郡中港駅前のポケットパーク、JR伊予市駅前広場とロータリーの再整備、JR伊予市駅の東西を結ぶ自由通路の設置、県道郡中港線の整備などを計画している。

事業の課題としては、事業費が多額になるため、国からの補助金以外での財源の確保が必要である。また、地権者等の地元関係者を始め、鉄道事業者等の交通事業者、道路管理者である県や県警など、関係機関が多岐にわたるため、合意形成に一定の期間を要することなどが挙げられる。

今後のスケジュールについては、一部の事業を除き、令和8年度からの5年間で郡中中心拠点地区都市再生整備計画に盛り込み、都市構造再編集中支援事業により、進捗を図ることとしている。

# 自主性、主体性を育て世界をかける子どもたち 夏休みの宿題を選択制にしては？

大野 鎮司 議員



(答弁) 魅力的だが慎重に取り組みたい



夏休みの宿題をなくすことで考えられるメリット	
① 教職員の働き方改革	子どもたちの宿題をチェックし、評価する担任の先生たちの負担減となる。先生は、授業の準備、心配な子どもへの対応など、業務が多岐にわたり大変である。膨大な事務作業が少しでも減り、子どもと向き合う時間が増えるのではないかと。
② 家庭での保護者との関わりが増えること	夏休みにしかできないこと、家族でいろいろな体験をすることは、子どもの人間形成に大変重要なことと考える。また、保護者の責任として学校に学力など頼りきるのはなく、子どもが将来どうなりたいかなど、しっかり向き合うことが大切では。子どもたちを大事に育てるには何をすべきなのかという視点で、学校・家庭・地域の大人の役割を整理する時期にきているのでは。

## 問

最近、夏休みの宿題をなくす学校が出てきている。目的は子どもたちの主体性を伸ばすこと。宿題の代わりに読書や自由研究、体力づくりなど自分でテーマを見つけて、計画を立てて取り組むようにしていた。この取組は、今の時代に合ったあらゆるメリットがある大変すばらしい取組であると思う。

## 答

本市でも、夏休みの宿題をなくし、子ども自身が自主的に課題を決めて取り組む、選択制にしてはどうか。

夏休みの宿題は、子どもの視点では、夏休みを楽しむ最大の関所と言えるが、学校側の視点に立つと、その目的は大きく3つある。一つ目は、夏休み中に学習習慣を崩さず生活リズムを整えるため、二つ目は、1学期に学んだことを復習して定着させるため、三つ目は、一つ目と二つ目を継続することで2学期からの学習をスムーズに始められるようにするためである。確かに宿題をなくすのではなく、自ら決めるという方法であれば、夏休み中の学習習慣の維持や復習もできるし、2学期からの学習もスムーズに開始できると考えられる。一方で学校側から考えると、宿題の成果を確認しなく

### おおの議員の「もう一言！」

夏休みの宿題をなくすことにより、先生の働き方改革を推進し、より多くの子どもたちと向き合う時間をつくる。また、家族との時間を増やすことで家族愛、地域愛を育む。いいことづくめではないでしょうか？何より伊予市の子どもたちが一番喜ぶと思います。



てよい点で教職員の負担減となる反面、家庭環境や児童生徒によっては学力に大きな差が生じることとなり、学力の二極化も懸念される。学校へ夏休みの宿題に関して確認したところ、ほとんどの学校が宿題を減らす傾向にあったが、宿題をなくしてしまうことについては、学力の低下への不安を感じるようである。

## 答

ながら見守りの周知を積極的に行う。

## 問

市内には多くの見守り隊の方々が、毎朝の登校時に同行や交差点で見守っていた。差点で見守っていただいているが、地域によっては高齢化で減少してきていると聞いた。今後、幅広く募る考えは。

### 登下校中の見守り隊

見守り活動には、登下校時間に合わせて外に出て花に水やりや掃き掃除をしたり、犬の散歩をしたりするなど、何かをしながら登下校中の子どもを見守る「ながら見守り」というものもある。市としては、今後、この「ながら見守り」についての周知を積極的に行うほか、児童生徒を守り育てる会などの集会で見守り隊への協力を呼びかけ、地域全体で子どもを見守る環境整備ができればと考えている。

## 下三谷楠木線の監視カメラ

# 交通量調査の現状報告を！

正岡 満 議員



(答弁) 本年11月に調査・解析する



問

令和4年6月議会において、「稲荷下

三谷線は大型車両の通行や一般車両の交通ルールを守らない状況が続いている。特に夜間の大型車両の通行には、周辺住民が大変迷惑している現状があるため、監視カメラの設置を検討してほしい」と質問し、前向きな答弁をいただき、今年の春に監視カメラを設置していただきたい。

答

交通量調査の現状報告については、

昨年11月下旬、国土交通省松山河川国道事務所が交通量調査を実施しており、この時の結果と比較検討するため、本年11月にカメラによる交通量調査・解析を実施したいと考えている。

なお、調査結果については、松山河川国道事務所が実施した結果と比較のうえ、報告させていただきたい。

問

現在設置している監視カメラは、交通量調査するのに適応した機種なのか。また、

どのような方法で映像データを収集するのか。

答

確認テストで車両の判別は可能である。

現在設置しているカメラは、本来交通量調査を目的としたものではないが、設置前に実施した録画映像の確認テストにおいても、車両の判別は可能であり、上下線とも撮影範囲に入っている。

また、映像データの収集方法については、カメラ設置場所において、専用のアプリをダウンロードしたタブレットにカメラ本体からデータを転送し、それを持ち帰ったうえでパソコン等にデータ

を取り込み、映像を確認する流れになる。

清掃センターの可燃性粗大ごみの持ち込み

問

清掃センターのごみ出しルールの徹底を図る対策は。

答

常時職員が直接説明し、チラシを渡す。

伊予地区清掃センターにおいては、常時職員がおり、ごみ出し方法を直接説明するとともに、場合によっては、ごみ出しルールのチラシを直接手渡し、ルール徹底を図っている。

問

今年度の清掃センターの可燃性粗大ごみの持ち込み状況は。

答

変更による不法投棄や野焼きは増えていない。

今年度から一部家具、畳、布団等の可燃性粗大ごみは定められた大きさにしなければ松山市で受け入れできないが、伊予地

令和5年4月からの対応



清掃センターに剪定くずを持ち込む場合、枝木だと厚みの直径が15cm、長さ50cm以内に切り、紐で束ねる。刈り草や葉っぱなどは容量45ℓの無色透明の袋に入れて用意されたコンテナに自らが入れて帰る作業となる。

区清掃センターのごみ置き場が利用できなくなったことにより、裁断機が使用できなくなったため、粗大ごみでの戸別回収へ変更させていただいた。現時点では、この変更による不法投棄や野焼きが増えたという事実はないため、戸別回収の活用や定められた大きさでの処理が進んでいるものと考えている。

きらきら・部活  
い〜よ  
第8回



よしひさ委員

双海地域は剣道がとても盛んで実績と歴史があります。今回は双海中剣道部取材しました！  
(9/14取材)

双海中学校 剣道部



部員数：10人(男子5人・女子5人)  
活動日：平日の放課後4日(火・外部コーチ)、土・半日

●部として大事にしていることは？  
声を出して、気合を入れて、気持ちを入れて練習することです。

●部活の目標は？  
新人戦地区大会で優勝して、県大会(11月11日・12日)で優勝することです。



はま だ やま と  
濱田大和くん

凛々しい顔の濱田大和キャプテン(写真左にインタビューしました！)

体育館の中に入ると、「こんにちは」という小気味よい挨拶。送風機とスポットクーラーがフル稼働する中、「ヤ〜」という威勢のいい声。練習メニューごと(15分〜20分ごと)に面を外して水分補給。



稽古中はかけ声と鋭い動きによる迫力が伝わってきます。

●議会や議員って知ってる？  
母が去年の夏に「女性議会」に参加しました。地域のことを話し合い、良くしてくれるところだと思っています。

●剣道部に入った理由は？  
小学校の時から双海剣道会でやっていたので入りました。高校でも続けます。

●チームのいいところは？  
個々のレベルが高いので、長所を教えあえるところですよ。

★顧問の重松先生から一言！  
剣道を通して、礼儀や節度ある態度などを身に付け、社会に出てからも通用する人になれるように、心身ともに成長してほしいと思います。保護者や地域の方に支えられながら活動できています。感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張ります！



ほん だ き に  
本多来咲さん

(本多)やったことがないことにチャレンジしてみたら良かった。初めての試合では緊張しましたが、男子と練習してきたので、自信を持って臨めました！

1人だけ剣道未経験で入部した本多来咲さん(写真左)に聞いてみました！



かわぐち委員

編集後記

9月議会からタブレットを使用するようになり、机がすごく広くなったような気がします。自宅の書斎で山積みになっている、分厚い過去の予算書や議案書を見て、かつて車に積んでいた地図帳を思い出しました。カーナビが出た後も「紙の地図のほうが見やすい」とか言って、しばらく積んでいたなあ。そんな反省から「やっぱり紙の予算書のほうがいい」とだけは言わないようにしようと思います。でも、議会だよりは紙のほうがいいですね。これは、何でだろう？

議会広報調査特別委員会 [委員長] 森川建司 [副委員長] 田中慎之介  
[委員] 金澤 功 正岡 満 吉久俊介 川口和代



たなか(慎)委員